

修学旅行

6年生が11月4日から5日までの日程で、福井県内の見所を巡る修学旅行へ出かけました。快晴に恵まれた1日目は、東尋坊へ行って岩場の絶景や海岸沿いに続く断崖の地層を観察しました。その後、芝政へ移動して、班ごとにいろいろなアトラクションを楽しみました。アーチェリーに挑戦した子たちは、矢がねらった的まで飛ばず、難しさを実感していました。時間いっぱい何度もアトラクションを味わい、どの子も楽しさを満喫しました。



東尋坊を散策

バスで美浜町へ移動して、海辺のホテルに宿泊しました。ボリューム満点の夕食を食べ、部屋で話したりお土産を買ったりして過ごしました。



芝政のアトラクション

翌日は、「フィッシャーマンズワーフ」「レインボーライン」「釣り」の3コースに分かれて活動しました。「釣り」コースでは、二人で一本ずつ釣り竿を持ち、ハマチや鯛を釣り上げようとしていました。漁師の方に、釣り竿の使い方を習いましたが、なかなか餌を付けた釣り針を遠くまで飛ばせません。失敗を繰り返しながらも、徐々に釣り竿の扱い方にも慣れ、釣り上げる子も出てきました。



釣りに挑戦

選択活動後、小浜市内のホテルに集合してテーブルマナーを学びながらコース料理を味わいました。フォークとナイフの並び方や食べる際には音を立てないなど、普段の食事とは勝手が違い、戸惑う場面もありました。マナーを守ってゆっくりと上品に食べることは、子どもたちにとって貴重な経験となったことでしょう。



ホテルでテーブルマナー

ホテルを後にして、若狭塗り箸の研ぎを体験しました。何層にも塗り重ねられた箸を回転する研ぎ機にあてると、表面の塗料が削られて、いろいろな模様が現れてきます。研ぎ機にあて方を変えたりして、子どもたちはオリジナルの箸を作ることができました。



明通寺の急坂

最後に訪れたのは、福井県で唯一、国宝のある明通寺です。急な階段を登り、講堂でお寺の歴史や仏像の由来を聞き、若狭の長い歴史を感じ取りました。たくさんの仲間と一緒に過ごす、楽しさと充実感を味わえた二日間でした。互いに感謝して、これからの学校生活にも活かしてもらいたいです。